

生活単元学習指導案（略案）

令和2年12月18日金曜日2校時 場所：視聴覚室

高等部 2学年 男子6人 女子5人 計11人

指導者 CT：重田浩典 ST：大城美咲・池原圭之介・安里かれん・神里竜也

【育てたい資質・能力】

- ・働く大変さや大切なことを他の生徒と共有する力、伝える力

【育っている資質・能力】

- ・就業体験を経験して働く大変さ大切さに気付く力

1. 単元名「働いている先輩にインタビューしよう」～他者とのコミュニケーション～

2. 単元の観点別目標（評価規準）

(1) 【知識・技能】

情報伝達手段（iPad）を活用することができる。（情報伝達手段＝プレゼンテーション）

(2) 【思考力・判断力・表現力】

伝えたいことを決めて、表現することができる。

(3) 【主体的に学習に取り組む態度】

分かったことや感想をまとめる（発表する）ことができる。

3. 学習計画と評価計画

次	時	主な学習活動	評価の観点		
			知・技	思・判・表	主体的
一	1	「笑顔であいさつ」あいさつの基本	◎	○	○
	2	「このことば正しいの？」正しい言葉遣いについて	◎	○	○
二	1	「自分をアピールしよう！」就業体験事前訪問あいさつ	○	◎	○
	2	「就業体験先はどんなところ」体験先について対話	◎	○	○
	3	「就業体験をおえて」就業体験を終えて得たもの	○	◎	○
三	1	「働く先輩にインタビューをしよう①実践」	○	◎	◎
	2	「働く先輩にインタビューをしよう②振り返り」	◎	◎	◎

4. 単元の個別目標

観点 氏名	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A	情報伝達手段の効果を理解し、1人で操作できる。	インタビューの結果に自分の考えを入れることができる。	自分から進んで学習の感想を伝えることができる。
B	情報伝達手段を活用して、まとめることができる。	インタビューを分かりやすく表現することができる。	自分で発表感想シートをまとめることができる。
C	情報活用手段を使用することができる。	インタビューの内容を決めることができる。	教師の支援の基、感想の発表を行うことができる。

5. 本時の学習（まとめ）

(1) 本時の目標

- ①先輩にインタビューした内容をまとめることができる。
- ②インタビューした内容を発表することができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	評価の観点	教師の指導及び支援及び配慮事項	備考
導入 5分	1 始めのあいさつ 2 前時の振り返り 本時の内容の確認 本時の目標の確認	主体的	・必要に応じて、日直に注目するように言葉かけを行う。 ・CTに注目するように言葉かけを行う。	
展開 40分	<p><前時の続きの活動> 「インタビューシート」を基に、先輩からインタビューしたことをiPadで発表できるようにまとめる。 プレゼンテーションが完成している生徒は個別練習を行う。</p>	知・技	プレゼンテーション作成の進捗状況の確認を行う。	[情報(1)] iPad
	<p><発表> 先輩からインタビューした内容の発表を行う。(発表を聞いている生徒は、聞き取りワークシートに記入する。) ※今回発表できなかった生徒は次回行う</p>	思・判・表 思・判・表 主体的	1人で発表できるように言葉かけを行う。 生徒各自でiPadを大型テレビに接続する際の手順の支援を行う。 発表のポイントごとに言葉かけを行い、ワークシートに記入できるよう支援する。 発表後、ワークシートに書けていない生徒に対しては質問しながら、書けるように支援を行う。	[職業(2)] [国語(2)(3)] 大型テレビ 発表感想シート
まとめ 5分	<p><本時の学習を振り返る> 6 感想発表 7 次回の授業の連絡 8 終わりのあいさつ</p>	主体的	・本時を振り返り感想を発表させる。 必要に応じて、発表者に注目するように言葉かけを行う。 ・CTに注目するように言葉かけを行う。 ・日直に注目するように言葉かけを行う。	